



連携科目の目的

学習コンシェルジュ連携科目は学習コンシェルジュと授業との連携を深め、レポートや課題に悩む学生がもっと学習コンシェルジュを利用しやすいように昨年度から取り組み始めました。昨年度の前期は地域学Ⅰ、応用確率統計、後期は地域デザイン入門、観光英語、計4科目との連携を試みました。

その結果（一部）

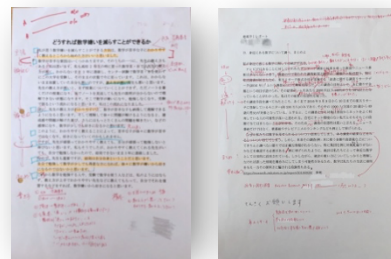
✎ レポート添削

地域学Ⅰ、応用確率統計につきましてはレポート作成にあたり基礎文章カスルの指導を手厚く行いました。特にオムニバス「地域学Ⅰ」の最終回課題は全受講生21名のうち、15名の学生（留学生7名）個別レポートの添削指導に対し下記ルーブリックという手法でレポート添削を行いました。

Table.1 留学生7人を除き、レポート添削指導の結果

	満たしたレポート件数 (延べ)	指導件数
文章の基本ルール	3	8
レポートの論理構成	2	
内容とテーマの適切性	4	
レポートのアイデアの独自性	4	
引用 出典の明示	0	

添削されたレポート



個別指導を通じて、出典・引用の明示されたレポートがほとんどなく、また、表現の適切性や段落分けなどレポート作成の基本的なライティングスキルが不足していることが明らかになっています。そのため、大学初年次教育におけるアカデミックリテラシー教育の強化、教員相互の情報交換は今後益々必要となるのではないかと考える。

✎ 観光英語

学外組織「稚内和服でおもてなし実行委員会」と連携し、授業で学んだ英語表現を使って外国人観光客に観光案内する機会として、観光英語を受講する学生の参加を呼びかけました。イベントは10月2日（月）十五夜に行われました。参加を希望した1名の学生はシンガポールからの観光客8名に伝統的の日本行事「お月見」を紹介し（図1）、その後シンガポールでは「お月見」の風習はあるか・どのような行事を行うのか等について観光客と会話を交わしました。学習コンシェルジュは学生に対して①異文化交流における心構えの指導、②説明文・カンペ作成指導（2週間の準備期間中3回）、③発表練習、④当日の補助通訳の役割を担いました。

今後の展望

昨年度の連携科目は、学生による学習コンシェルジュの自発利用を促すために試みました。今年度では連携の仕方を改善し、前期においては「図書館情報学概論」と連携し、提出されたレポートに対して担当教員がフィルターをかけた上、学習コンシェルジュにて指導を受ける仕方を取っています。また後期においても継続実施する予定です。



昨年度活動当日の様子（左は参加学生）

お問い合わせ

稚内北星学園大学 わくほくメディアラボ 特任助教 学習コンシェルジュ 高 シユウ
〒097-0013 稚内市若葉台1丁目2290-28 電話 0162-32-7511 FAX 0162-32-7500
E-mail : shuu(アット)wakhok.ac.jp URL http://coc.wakhok.ac.jp/
※(アット)は@に変換してください